

[3] B 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

鳥羽とば法皇ほうわうの女房にようぼう、小大進こだいしんといふ歌よみありけるが、待賢門院たいけんもんゐんの御衣ごい一重ひとかさね、失せたりけるを負おひて、北野aに籠りかごり、祭文さいもん書きて、まもられるに、三日といふに、神水じんすいをうちこぼしたりければ、まもり檢非違使けびゐし、「これに過ぎたる失やあるべき。出で給へ」と申しけるを、小大進泣く泣く申すやう、「おほやけの中のわたくしと申すは、これなり。いま三日の暇をたべ。それにしるしなくは、われを具し出で給へ。恨みあるまじ」と、みめ、かたち足らひ、愛敬cづきたる女房にようぼうの、うち泣きて申しければ、檢非違使dもあはれと思ひて、のべたりけるほどに、小大進、

思ひ出づや なき名 たつ身は憂かりきと現人神あらひとがみになりし昔を

とよみて、紅くれなゐの薄様うすやう一重ひとかさねに書きて、御宝殿ごたうだんにおしたりける夜、鳥羽法皇の御夢ごむに御覧ごらんするやう、よにけたかく、やむごとなき翁おきなの、束帯たすきにて御枕ごまくらに立ちて、「やや」とおどろかし、参まゐらせて、「われは北野の右近馬場うこんのうまばの神にて侍る。めでたきことの侍る。御使ごしたまはりて、見せ候はむ」と申し給ふ、とおぼしめして、うちおどろか、せ給ひて、「天神の見えさせ給ひつる。いか

〔出典〕

『十訓抄』第十の十六

〔重要語句〕

- 失す
- 負ふ
- まもる
- おほやけ
- わたくし
- 暇
- しるし
- われ
- 具す
- みめ
- かたち
- 愛敬cづく
- あはれ
- ほど
- なき名
- 憂し
- よに
- けたかし
- やむごとなし
- やや
- おどろかす

なる御事のあるぞ」と、「見て参れ」とて、「鳥羽の御馬屋の御馬に、北面(注②)のものを乗せて、馳せよ」と仰せ **A** ければ、馳せて エ 参りて見るに、小大進は雨しづくオと泣きて候ひけり。御前に紅の薄様に書きたる歌を見て、これを取りて参るほどに、いまだ オ 参りつかぬさきに、鳥羽殿南殿の前に、かの失せたる御衣をかづきて、さきをば法師舞ひ、しりをば敷島(注③)とて、待賢門院の雑仕(注④)なりけるが、かづきて、獅子に舞ひて、参りたりけるこそ、天神のあらたに 5 歌にめでさせ給ひたりけると、めでたく侍れ。

すなはち、小大進をば召しけれども、「かかるもんかう(注⑤)を負ふことは、心わるきものにおほしめさ **B** やうのあればこそ」とて、やがて仁和寺なる所に籠り6るにけり。

力をも入れずして、天地を動かし、目に見えぬ鬼神をもあはれと思はす

と、古今集の序に書かれたるは、これらのたぐひなり。

(『十訓抄』による)

注 ① 祭文書きて…神に言葉を捧げて守護を祈ったこと。

② 北面のもの…警護の武士。

③ 雑仕…雑用にあたる下級の女官。「敷島」はその女官の名。

④ もんかう…疑い。

- ◎めでたし
  - ◎見す
  - ◎おどろく
  - ◎見ゆ
  - ◎御前
  - ◎かづく
  - ◎あらたなり
  - ◎めづ
  - ◎すなはち
  - ◎やう
  - ◎やがて
  - ◎ゐる
- 〔敬語動詞〕
- ◎給ふ・たまふ
  - ◎申す
  - ◎たぶ
  - ◎御覧す
  - ◎参らす
  - ◎侍り
  - ◎たまはる
  - ◎候ふ
  - ◎おほしめす
  - ◎参る
  - ◎仰す

問一 傍線部1「まもられるに」の意味として最も適切なものを、次のア～オの中から一つ選べ。

- ア 神の加護を受けていたが
- イ ずっと監視されていたが
- ウ みそぎを怠らず祈ったが
- エ 自らを警護しておられたが
- オ 凝視していらつしやったが

問二 傍線部2「おほやけの中のわたくし」とは具体的にどのような行為を指しているか。最も適切な本文中の言葉を、二重傍線部a～eの中から一つ選べ。

問三 傍線部3「なき名たつ身」とはどのような身のことを言うか。簡潔に記せ。

◎召す

〔古典常識〕

- 法皇
- 女房
- 門院
- 御衣
- 北野
- 檢非違使
- 薄様
- 東帯
- 南殿
- 雑仕
- 天神
- 歌徳

〔出題校〕

早稲田大学・教育

問四 小大進の歌は、歴史上のある人物のことを詠んでいる。その人物名（漢字四字）を楷書で記せ。


問五 二重傍線部ア、オの敬語の中に、敬意の対象が他と異なるものが一つあるが、それはどれか。ア、オの中から一つ選べ。

--

問六 傍線部4「めでたきこと」とは具体的に何を指しているか。最も適切な語句を文中から六字以上十字以内（句読点等が含まれる場合には全て字数に含む）で抜き出し、記せ。


問七 空欄 A、B には助動詞「る」または「らる」が入る。それぞれに合う助動詞を適切な活用形にして、記せ。

A
B

問八 傍線部5「歌にめでさせ給ひたりける」を現代語訳し、記せ。

--

問九 傍線部6「に」と文法上同じ「に」(波線部)を含む歌を、次のア～オの中から二つ選べ。

- ア 冬ながら空より花の散りくるは雲のあなたは春にやあるらむ
- イ 帰りける人来れりと聞きしかばほとほとしにき君かと思ひて
- ウ 何時しかと待つらむ妹に玉づさの言だに告げず往にし君かも
- エ 唐衣着つつなれにし妻しあればはるばる来ぬる旅をしぞ思ふ
- オ 名にめで折れるばかりぞ女郎花われ落ちにきと人にかたるな

--